

きょうの紙面



トリケラトプ
ス 5面

3面に
6さいからの
ニュース

名せりふ劇場 3面

ウルトラマン

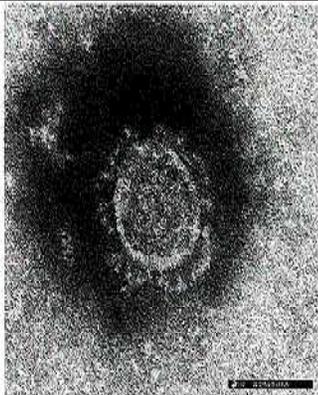
ロジかる? 4面

ほんとう
本当の原因

4月からの新連載 6面

◇おことわり 6面の「さくひん」
「妖怪穴」はお休みしました。

新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真―国立感染症研究所提供



ウイルス

人間が新たなすみかに?

新型コロナウイルスの感染が世界中に広がっています。日本もこれまでに15000人を超える感染者が確認されています。なぜ流行が始まったのか、生物学者でもある国立環境研究所の五箇公一さん(生物・生態系環境研究センター生態リスク評価・対策研究室長)が教えてくれました。

野生動物がすむ環境を守ろう

いま世界中で流行している新型コロナウイルスと同じように、2002年に重症急性呼吸器症候群(SARS)という新型コロナウイルスによる感染



サングラスがトレードマークの五箇公一さん

◆五箇公一さん
国立環境研究所生物・生態系環境研究センター生態リスク評価・対策研究室長

1965年生まれ、富山県高岡市出身。京都大学大学院修士課程修了。宇部興産で農薬の研究開発などに従事した後、98年国立環境研究所入所。博士(農学)。専門は保全生態学、タニシ学。

ことで、動物の体内のウイルスが人間に感染して、病気が広がったと指摘されています。おそらく、今回の新型コロナウイルスも何か野生動物の体内にいたウイルスが起源であろうと推測されます。

とされます。なぜ、これらのウイルスが人間社会に侵入してくるようになったのでしょうか?
それは、私たち人間が野生動物のすむ山や森、草原などの環境を破壊し、野生動物の数を減らすとともに、人間が、野生動物の世界に立ち入ることで、野生動物の体内に潜んでいたウイルスたちが新たなすみかとして人間に感染を広げ始めているからだと考えられています。

この新型コロナウイルスのように、今まで人間が出合っただこともない未知のウイルスが急に人間社会に侵入して病気をもたらすことがここ数十年で多発しています。SARSもそうですし、HIVといわれるエイズの原因ウイルスも1970年代以降になって急速に世界に広がりました。こうした人間にとっ

ての新しい病気を「新興感染症」と言います。今、問題になっている新型コロナウイルスはまさにこの新興感染症の最先端と言えます。これら新興感染症の多くは野生動物に由来するといわれています。たとえばSARSウイルスはキクガシラコウモリという野生のコウモリに、もともと寄生(他の生物にすみつく)していたウイルスであり、HIVはサル類に寄生していたウイルスが起源

の新しい病気を「新興感染症」と言います。今、問題になっている新型コロナウイルスはまさにこの新興感染症の最先端と言えます。これら新興感染症の多くは野生動物に由来するといわれています。たとえばSARSウイルスはキクガシラコウモリという野生のコウモリに、もともと寄生(他の生物にすみつく)していたウイルスであり、HIVはサル類に寄生していたウイルスが起源

る。人間による自然環境の破壊によって、これら自然界のウイルスや細菌類と人間たちが接する機会が増えていることが、新興感染症が広がる背景になっています。病原体の侵入を防ぐとともに、彼らと共生していくためにも、自然環境を守って、管理していくことは、人間にとって重要な課題となります。

る。人間による自然環境の破壊によって、これら自然界のウイルスや細菌類と人間たちが接する機会が増えていることが、新興感染症が広がる背景になっています。病原体の侵入を防ぐとともに、彼らと共生していくためにも、自然環境を守って、管理していくことは、人間にとって重要な課題となります。

る。人間による自然環境の破壊によって、これら自然界のウイルスや細菌類と人間たちが接する機会が増えていることが、新興感染症が広がる背景になっています。病原体の侵入を防ぐとともに、彼らと共生していくためにも、自然環境を守って、管理していくことは、人間にとって重要な課題となります。

教えて！池上さん

306



◇池上彰さん【ジャーナリスト】 1950年長野県生まれ。NHKで報道記者やニュースキャスターを務めた。2005年からフリーのジャーナリストに。名城大学教授、東京工業大学特命教授。著書に「池上彰の親子で新聞を読む！」など多数。



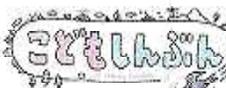
ウイルスの歴史

世界に広がる新型コロナウイルスは、もともと中国・武漢の海鮮市場から広がったと考えられています。そこで野生の動物が売買され、動物からウイルスが人間に感染したというのです。人類の歴史は、動物から感染した病気との戦いでもありました。そんな歴史を知りましょう。

きょうの紙面



変わりシューマイ 6面



サワラちゃんです

はなかつぱ 4・5面

みんなでコンサート

列車に乗ろうよ！ 8面

横浜市交通局

家畜化で豊かに…でも動物の病気が

インフルエンザ 豚や鳥から人に

感染しやすい病気が世界中に広がることをパンデミックといえます。

今回の新型コロナウイルスの感染で思い出すのは2009年の新型インフルエンザの流行です。この年、メキシコとアメリカで「豚インフルエンザ」が流行しました。豚がかかるインフルエンザが人間にも感染し、さらに人間から人間にうつるようになったためです。

当初は世界中がパニックになりましたが、結局、通常のイ

ンフルエンザと同じ程度の症状だとわかり、ワクチンも開発されて騒ぎは収まりました。呼び方も「豚インフルエンザ」では人間の病気であることがわからないとあって、「新型インフルエンザ」と改称されました。

邪と呼ばれたインフルエンザが大流行したことがあります。当時はインフルエンザと風邪の区別がつかなかったためにこう呼ばれましたが、いまではインフルエンザウイルスによるものだったことがわかっています。

かつての人類は、狩猟をして生活していました。狩りは大変でしたが、捕った動物はすぐに焼いたりして食べてしまったため、動物の病気が人間に感染する危険性は小さなものでした。

農耕社会になり、多くの人が集団で生活するようになって、人間の間で感染が拡大するようになりました。それでも以前は、病原菌やウイルスが流行し始めても、世界中に感染が広がるには長い時間がかかりました。

しかし、いまはグローバル社会。多くの人が飛行機で行き来するようになり、世界は小さくなりました。その結果、感染症は瞬く間に世界中に広がります。グローバル社会は危険もグローバルになるのです。

でも人類は、幾度となく襲ってきた危機と戦い、勝ってきました。それを忘れずに新型コロナウイルスと向き合いまし



パンデミック

え・藤井龍二